

2013 中期事業計画

Sensing & Communication
FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

—— 水中から宇宙まで ——

明星電気株式会社
代表取締役社長兼CEO 石井 潔
2013年2月4日



明星電気株式会社

1. ふりかえりと課題認識
2. 企業理念とビジョン
3. 経営戦略
4. 2013中期事業計画
5. 業績・経営目標



2011年度中期経営目標に対するふりかえり

- 累積損失を解消し、21年ぶりに配当を実施
- 売上高100億円、経常利益率10%は未達
- 海外・民需に対する売上比率は伸び悩み



筋肉質な企業体質構築は実現

積極的な事業展開を図るために、IHIグループの一員へ

成長を実現する段階へ



企業理念を改定し、長期ビジョンを策定

経営戦略に基づいた2013中期事業計画を策定



【企業理念】

私たちは、独自のSensing & Communication技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます

【ビジョン2023】

<目指す姿>

世界の人々のより豊かな生活の実現をめざし、生活環境、地球環境、宇宙環境の監視、保全、活用に貢献するグローバルな企業となります

<IHIグループでの役割>

明星電気の有する独自のものづくり力とIHIグループの広範囲にわたる事業とを結び付け、世界トップレベルの商品・サービスを創出します

<社員の姿>

明星電気社員は、誇りを持ち互いに尊敬しあえるプロフェッショナルとして社会への貢献、夢の実現に向けて常に挑戦しつづけます



(1) 事業コンセプト

■ 「Sensing & Communication」を事業の核

明星電気の強みである「測る技術」、「伝える技術」すなわち「Sensing & Communication」を事業の核に据えて、事業の発展を目指す。

(2) 事業発展の方針

- 差別化された技術・商品・サービスによる競争力強化
- 積極的な研究開発投資

(3) 注力事業分野

- 気象・環境・防災分野、宇宙・防衛分野にリソースを注力
- エネルギー、航空、ライフサイエンス等の成長分野への進出



(4) IHIグループとの技術・商品・サービスでの連携

- IHIグループの商品・サービスの高度情報マネジメント化に貢献
- 共同開発、共同生産、生産体制の最適化を行うことによるシナジー効果
- IHIグループの国内外の販売網との連携

(5) グローバル化

- 世界標準の商品開発を積極的に推進
- IHIグループと連携した海外販売体制を構築



(1) 重点施策

■ 中核事業

気象・環境・防災事業：差別化、サービス化、システム化を進め輸出を含めた売上拡大

宇宙・防衛事業：システム化、宇宙利用分野の拡大についてIHIグループと連携を強化

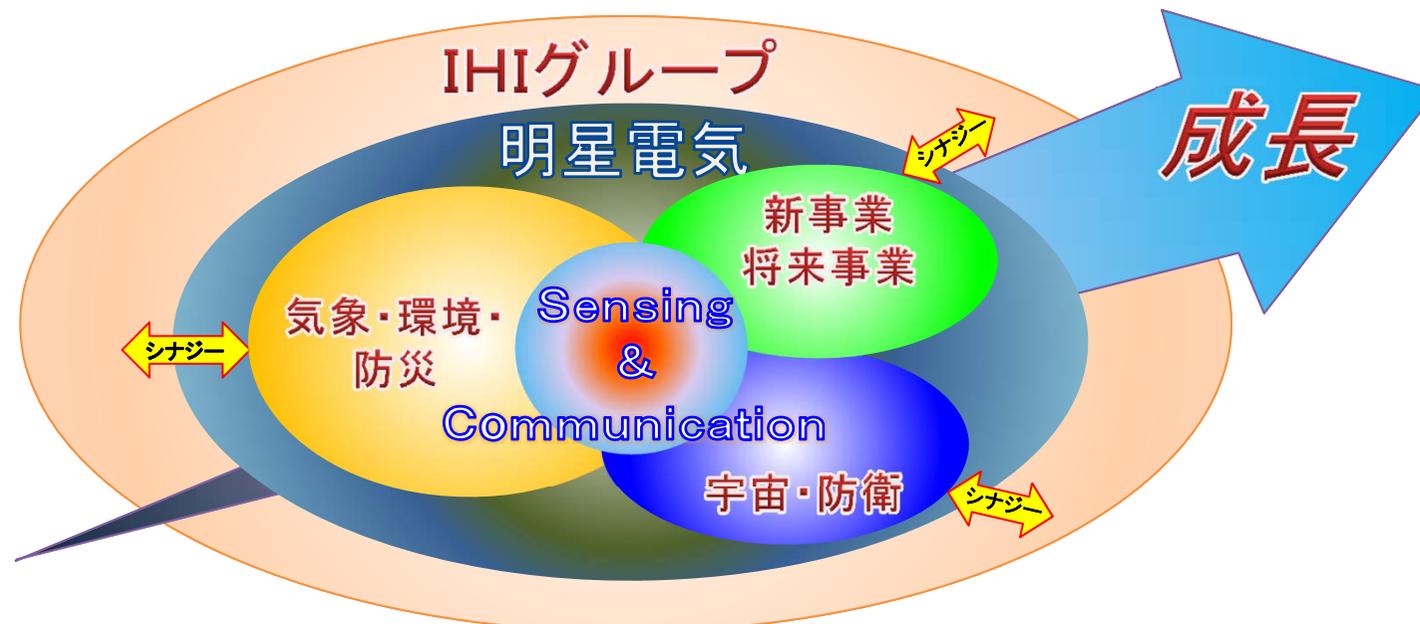
■ 新事業

IHIグループと連携して事業を展開、拡大

■ 将来事業

Sensing & Communication技術をコアとして成長分野に進出

■ 海外進出の加速



(2) 気象・環境・防災事業分野でのさらなる成長ー1

- 高層気象観測用新型ゾンデを開発・投入し、世界市場でのシェアを拡大
 - ・小型化、低コスト化し世界トップレベルの新型標準ゾンデ
- ゲリラ豪雨／竜巻等の局所気象災害に対処するため差別化した気象観測機器・サービスを展開

高層気象

GPS ラジオゾンデ



地上気象

気象情報ネットワークシステム



(2) 気象・環境・防災事業分野でのさらなる成長ー2

- 鉄道、高速道路等の交通インフラ向けの差別化された地震観測機器を開発・提供
- IHIグループと連携して津波／防災対策システム等の社会インフラシステムを開発、提供

地震観測



計測震度計

津波警報



津波早期警報システム



(3) 宇宙・防衛事業分野におけるIHIグループとの連携強化

■*ISS搭載機器事業を拡大

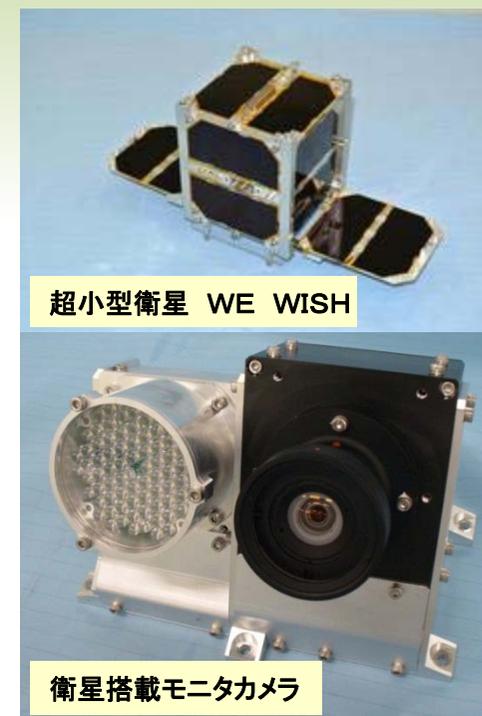
■小型衛星を含む宇宙利用事業を拡大

- ・衛星搭載機器及び超小型衛星の実績をステップにIHIグループとの連携によりシナジー効果を創出する。

■アビオニクス事業に参入

- ・電力系機器等のロケット向けアビオニクスの小型、低コスト化を実現する。
- ・防衛システムへの展開

*ISS: 国際宇宙ステーション(International Space Stationの略)



(4) 新事業分野におけるIHIグループとのシナジー

■ IHIグループと連携して3次元レーザーレーダーを応用開発し市場を拡大

・IHIの踏切障害物検知装置の実績をもとに道路市場等への応用開発を進める。

■ IHIグループの各種機器に使用される共通制御プラットフォームの開発と生産

(5) 成長分野における将来事業の取り組み

■ 「Sensing&Communication」を利用した環境監視、エネルギー管理、航空機の飛行安全、ライフサイエンス分野のリモートモニタリング等、新しい成長分野の技術研究、マーケティングを推進



(6) 海外進出の加速

《海外営業組織の充実》

- 2012年11月に「海外事業拡大プロジェクト」を発足
- 2013年4月に「グローバル戦略グループ」を設置予定

《海外市場への展開》

- ODA案件への積極的対応
- IHIグループ海外拠点と連携した営業活動の実施
- JICA等の官民一体となったビジネスへの積極的参画

《注力事業》

- 防災事業 : 地震、津波等の災害対策インフラ・商品を提供
- 高層気象事業 : 新商品、海外販売チャンネルを充実し、販売強化
- 航空管制事業 : 空港向け気象・管制統合システムを開発、提供



5. 業績・経営目標

(1)売上高

事業別売上目標	2012年度見通し	2015年度
気象環境防災事業	47億円	63億円
宇宙防衛事業	19億円	28億円
新事業	—	15億円
その他事業	4億円	4億円
合計	70億円	110億円

(2)経常利益率10%

(3)設備／研究開発投資計画

- 2013年度からの3年間で30億円規模の投資を実施

(4)その他

- 2015年度までに東証1部指定替えを実現





FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

明星電気株式会社 www.meisei.co.jp